

経済学専攻

Economics

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程



【Webサイト】
公共政策学専修コース
https://www.daito.ac.jp/education/
graduate_school/department/
economics/public_policy_course/

学びの特長

理論と実証の両面からの指導により、社会経済の高度化等の変化に対応した分析能力を有する人材を育成します。



【Webサイト】
経済学研究科 経済学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/
graduate_school/department/
economics/outline.html

学べる領域の図



現代の多様な変化に対応できる 分析・立案能力を養う

経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程では、経済理論及び経済諸現象を的確に理解し、現代における社会経済の高度化・複雑化・国際化・情報化等の変化に対応した分析能力・立案能力を有する研究者や専門的知識をもつ職業人・社会人の育成を目指しています。そのために前期課程では、「研究指導科目」として理論経済学、経済史、経済政策、国際経済、金融、財政、社会保障を設置し、これをさらに幅広く研究するための関連科目として多彩な「講義・実習科目」を開講しています。

後期課程では、前期課程における研究をさらに深め、発展させ、研究者として自立するために必要な広く豊かな学識と高度な研究能力、専門業務に必要な高度な専門能力をもち、社会に貢献できる人材の育成を目指します。「研究指導科目」として理論経済学、経済史、経済政策、国際経済、社会保障を設置し、さらにこれらの研究を深化させるための「関連講義科目」を開講しています。

経済学専攻では、自主的な研究を推進するために院生研究発表会やインターナル・セミナーを実施、研究機関誌『経研論集』を発行するなど、研究成果を発表する多くの機会が設けられています。また、幅広いニーズに応えられる人材を養成するために、留学生の積極的な受け入れ、公共政策学専修コースの設置なども行っています。

学位取得論文

- 中国におけるAI先導区の段階的導入がAI特許件数に与えた影響
― Staggered Synthetic DIDによる分析
- 60代の就業決定に影響を与える要因の分析
― 二値選択モデルによる実証分析
- 在留外国人が増えると犯罪率も上がるのか
― 都道府県データから見る外国人犯罪率―
- インターネット普及率と都市・農村教育格差
― 中国省別パネルによる推定とCFPSによる補助分析
- 農業機械購入補助金が農家可処分所得に与える影響について
― 江蘇省における事例研究
- デュアルチャネル戦略におけるオンライン直販の
市場拡大効果：理論的アプローチによる検討
- 中国における女性の収入・家庭要因が子供の課外教育投資に与える影響
- 定年延長が労働市場において日本の若年採用に与える影響
- 都市部のジェントリフィケーションが元住民の就職機会に与える影響
― 北京市の都市部における実証分析
- PPPの導入による中国各省の公共財政支出効率に関する研究
- モバイルゲームにおけるデジタル二次創作と売上高の関係
- 青い空の価値：中国における大気汚染が住宅価格に及ぼす影響
- 最後通牒ゲームにおける他者依存性と合理性の識別
- 中国の重点的な流域に関する環境規制が当地のFDIに及ぼす影響
- 持続可能な開発に対するクリーンエネルギーの開発・利用の影響
- 中国の財政移転が地域間財政力に与える影響―制度の変遷と効果
- 埼玉県におけるコミュニティバス事業の経営効率性評価

Student Voice

教員と学生の距離が近く、生活面でのサポートも豊富です



経済学専攻
博士課程前期課程2年
李 キン洋さん
中国武漢理工大学 物流工学部
機械設計製造及び自動化学科卒

私は大学で経済学を専攻していなかったため、当初は受験そのものや、教授に受け入れていただけるかどうか不安がありました。しかし来日後に経済学の基礎から体系的に学び直し、先生方にも励ましていただいたことですぐに心配は解消されました。本学は教員と学生の距離が近く、研究に関する相談はもちろん、キャリアや生活面でも親身にサポートしていただけます。また経済学を中心とした幅広い分野の専門家が在籍しており、多角的な視点から研究を深められる環境が整っていること、加えて留学生への支援制度も充実しており、学業と生活の両面で安心して研究に打ち込める点が魅力です。現在は、「農業機械購入補助金が農家可処分所得に与える影響について―江蘇省における事例研究」をテーマに研究を進めています。中国の農業課題を経済学的手法で分析し、政策や現場に役立つ知見を導き出せる点にやりがいを感じる今、将来は大学院で培った専門知識と分析力を活かし、教育機関や研究職など、知識を伝え・活かす立場で社会に貢献したいと考えています。

経済学専攻 専任教員

博前 博士課程 前期課程の研究指導

博後 博士課程 後期課程の研究指導

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

池田 剛士

博士（経済学）／教授
産業組織論、流通経済論

博前

寡占企業による流通戦略や価格戦略が経済に与える効果について、理論的側面から研究を行っています。

大杉 由香

博士（経済学）／教授
近代日本経済史、社会福祉

博前 博後

長期的視点と国際比較の視点を踏まえ、かつ日常生活の目線から現在の社会福祉・保障の問題を考えます。

岡村 與子

Ph.D in Economics ／教授
応用計量経済学、統計分析

博前 博後

マクロ計量的分析。近年は労働生産性にかかわる分析・推定。また趨勢に伴う地域間格差の測定をしています。

川野 幸男

博士（社会学）／教授
社会学、移民研究

博前 博後

移民の定着が進むにつれてエスニック集団間の関係がどう変化するかを、教育や結婚の動向などから分析しています。

葛目 知秀

修士（商学）／教授
国際金融論、国際通貨制度論

国際経済学の基礎的理論を用いながら、国際経済で発生している諸問題をさまざまな角度から分析します。

顧 濤

博士（経済学）／教授
マクロ経済学

博前 博後

マクロ経済統計の作成、その限界ならびに経済理論との対応関係を中心に研究しています。

内藤 二郎

博士（経済学）／教授
現代中国経済論

博前 博後

特に、中国の国家財政、地域経済及び国と地方の政府間関係の現状について研究しています。

中村 宗悦

修士（経済学）／教授
近代日本経済史

博前 博後

近現代日本における経済史、特に1920～30年代のマクロ経済政策、政策思想を中心に研究しています。

濱本 知寿香

博士（学術）／教授
社会保障論、社会福祉

博前

家計と育児、貧困などを分析。少子高齢社会の経済的課題と対応のあり方を研究しています。

古屋 核

博士（経済学）／教授
マクロ経済学

マクロ経済学、特に制度制約下での雇用量・物価水準・替レート間の相互関係を中心に研究しています。

布袋 正樹

博士（経済学）／教授
財政学

博前

税制と企業行動に関する調査研究。最近は、中小企業税制について研究しています。

大浦 あすか

博士（経済学）／准教授
経済成長論

博前 博後

限りある資源を有効活用し、持続可能な経済成長を達成するための政策に関する研究をしています。

角田 保

修士（経済学）／准教授
応用ミクロ経済学

博前 博後

最近ノンパラメトリックな統計分析について研究しています。

藤村 哲史

博士（経済学）／准教授
経済学説史、経済思想史

19世紀イギリスの貧困問題に関わった経済学者の思想や理論について研究しています。

入谷 聡子

博士（経済学）／講師
アフリカ経済、開発経済学

特にエチオピアにおける、農村の貧困やリスクに関する実証研究を行っています。

Topics

公共政策学専修コースの設置

政策科学の横断的な教育・研究を通して市民社会の基盤を担う人材を育成することを目的とした公共政策学専修コースを2007年に開設しています。政策立案のスキルアップをめざしている現職公務員、公務員を志望している学部卒業生、日本の公共政策を研究対象としている留学生などを念頭においています。このコースでは、経済学研究科経済学専攻と法学研究科政治学専攻とが連携していますので、経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程に在籍して公共政策学に関係する基本的・専門的科目を履修しながら、併行して法学研究科政治学専攻の科目も履修するという特徴があります。

『経研論集』の刊行

経済学専攻博士課程前期課程、後期課程の大学院生の研究論文を掲載する『経研論集』を定期的に発行しています。経済学研究科と経営学研究科が共同で編集し、2024年度までに34号が刊行されています。大学院生の主体的な研究姿勢を促すとともに、研究成果を社会に広く発表して議論を深め、研究水準の向上に寄与する貴重な場となっています。